

セクシュアルハラスメント： アメリカ女性の オーラル・ヒストリー(口述歴史)における 沈黙と語り

1970年代セクシュアルハラスメントという言葉がまだなかった時代、現在セクシュアルハラスメントと呼んでいるものを女性たちはどのように経験していたのだろうか？ その時代を生きた女性たちの個人的な体験から、歴史家はどのようにその問題を捉えることができるだろうか？ わたしは、大量のデジタル化された女性たちの口述資料をもとに、1930年代から1970年代までの、強制的な望まない性的行動における語りを研究してきた。これらの語りから、沈黙と語りという2つの重要パターンが見えてくる。また、両方のパターンに共通する特徴もわかってきた。今回の講演では、歴史的な文脈の中に彼女たちの記録を位置づけ、この興味深い語り手の声に光を当てたいと思う。



■ 日 時 2024年 **8月5日** 月
13:20～16:30

参加費
無料

日英逐次通訳あり

■ 講 師 **エステル・フリードマン** さん
(スタンフォード大学名誉教授)

■ 会 場 **名古屋都市センター14F特別会議室**
名古屋市中区金山町一丁目1番1号金山南ビル

■ 定 員 **50名**

■ プログラム	◎ 受付開始	13:00
	◎ あいさつ	13:20
	◎ 講 演	13:30～15:30
	◎ 休 憩	10分
	◎ 質疑応答	15:40～16:30

申込方法 ▶ 7月31日(水)までに、インターネット又はFAXでお申込みください。
詳しくは、本状裏面をご覧ください。
お申込み後、定員内の場合は特にご連絡いたしません。当日、直接会場へお越しください。事前の申込みなしでのご来場はご遠慮ください。

主 催 ▶ 公益財団法人 東海ジェンダー研究所

お問合せ先 ▶ 事務局 TEL 052-324-6591 FAX 052-324-6592 E-mail: info@libra.or.jp HP:https://libra.or.jp

Estelle B. Freedman (エステル・フリードマン)

スタンフォード大学の名誉教授(アメリカ史の名誉職「エドガー・ロビンソン教授」(Edgar E. Robinson Professor))であり、専門はアメリカ史。女性、フェミニズム、セクシュアリティの歴史について10冊の書籍を出版、その中には、*No Turning Back: The History of Feminism and the Future of Women* (Ballentine Books, 2002) (『フェミニズムの歴史と女性の未来: 後戻りさせない』(安川悦子・西山恵美訳、明石書店、2005年))、*Redefining Rape: Sexual Violence in the Era of Suffrage and Segregation* (Harvard University Press, 2013)、*Intimate Matters: A History of Sexuality in America* (with John D'Emilio, Chicago University Press, 1988, 3d ed., 2012)などがある。

多数の賞を授与された教師であり、メンターでもあるフリードマン教授は、全米人文科学基金、グッゲンハイム記念財団、スタンフォード大学行動科学高等研究センターの会員である。加えて、20世紀の女性のオーラルヒストリーにおける性的暴力の語りについて現在執筆中であり、サンフランシスコ・ベイエリアのフォークシンガーで活動家でもあったフェイス・ペトリック (Faith Petric 1915-2013) を描いた、近く公開予定のドキュメンタリーフィルム *Singing for Justice* 「正義のために歌う」(クリスティ・ヘリングとともに) の共同監督でもある。



8月5日「国際講演会」申込み



『インターネット』でのお申込み

下記URLにアクセスしてページ下部の参加申込みフォームからお申込みください

<https://libra.or.jp/ivent-info/meeting/>



『FAX』でのお申込み

項目をご記入の上、下記FAX番号までお送りください

FAX: 052-324-6592 (公益財団法人 東海ジェンダー研究所 事務局あて)

ふりがな			
氏名			
電話番号		FAX番号	
E-mail			

* 参加申込書の個人情報は、ご本人の承諾なく本講演会の実施目的以外に使用いたしません。

会場案内図



ご来場の皆さまへ

★体調がすぐれない方は、ご参加をお控えいただけますよう、お願いいたします。